



第205号

平成29年12月20日号

特別養護老人ホーム 作楽荘

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532) 48-5111・FAX (0532) 48-5112



職員代表プロジェクト「キャリアパス研修」の開講式
平成29年7月18日 於 特養麗澤荘

2017年回顧

心に残る出来事から3つ

理事長 滝川一亮

改めてここにご冥福をお祈り申し上げます。

社会福祉法人制度の改革

今年は社会福祉法人制度改革によって、大幅に法人運営の在り方が変わった最初の年度となりました。

定款の変更から諸規程・

細則の変更まで、約1年間の限られた時間の中で準備を慌ただしく進める必要がありました。すべてが初めてで戸惑う事ばかりでしたが、内外からの手厚いご指導により、何とか無事に制度改革の1年を乗り切る事ができまして、ほっと胸を撫で下ろしております。

新制度における初の理事長選も行われ、再選して頂きました。今こうして原稿を書いている次第です。

このように無事に年の瀬を迎えられますのも、職員はじめ皆様のお陰と感謝しております。来年の3月30日にはいよいよ当法人創立30周年記念式典を迎えることになりますが、法人のみならず皆様にとりましても飛躍の良き1年となります様、心より祈念申し上げます。どうか良

今年もあつという間に時間が過ぎ去り、年の瀬が押し迫つてまいりましたが、皆様にとりましてはどの様な1年でしたでしょうか。改めて振り返つてみますと、法人にとり本当に目まぐるしい1年となりました。枚挙に暇のないほど様々な出来事がありましたが、その中でも私にとって特に心に残る出来事から、3つ挙げてみたいと思います。

名誉会長の逝去

一興前理事長(名誉会長)

が3月27日に永眠されました。享年満80歳でした。

名譽会長は当法人の事業創始者であり、整形外科医として医療法人社団一誠会

滝川病院(現在のタキカワ

病院)を設立され、多くの出来事がありましたが、その中でも私が特に心に残る出来事から、3つ挙げてみたいと思います。

昭和62年7月に社会福祉法人一誠福祉会を設立。まだ介護保険制度ではない措置

制度の時代であった昭和63年4月、特別養護老人ホーム作楽荘を開設しました。

その後は滝川病院との強

固な連携を維持しながら法

人を発展させ、高齢化の時

流にも乗つて29年の歳月を経た現在、職員数も390名を

超え8拠点・8施設・18事業所を擁すまでに成長させた

当法人の先達です。

来年の法人創立30周年記念式典をとても楽しみにされていただけに、さぞや感動いたしました。

キャリアパスの導入

今後も続くであろう人材

不足への対応には離職率の改善が必要であり、その為

には、公正・公平なスキル評価や将来への展望ある職

場環境作りが何より大切であります。

これに向けて6月より、キャリアパス導入プロジェクトを開始しました。現在

順調に進行しておりますので、来年には満足のいく形

が出来上がる予定です。

10大ニュース

—2017年—

—2017年—
**(福)一誠福祉会
10大ニュース**

10大ニュース



2 社会福祉法人の制度

改革 社会福祉法人の制度 原 基修 山本紀子

監事

原基修
山本紀子

1
名誉会長逝去

3月27日に逝去されました。滝川家に関わる法人・医院・家族の合同葬儀を行いました。

名譽会長は、昭和62年に(福)一誠福祉会を設立され、翌年には自らが施設長となって特別養護老人ホーム作業荘を開設しました。その後も多くの施設を新設して、地域の福祉推進にも多大な貢献をされました。

の強化があります。
定款を改定し、理事会と評議員会および評議員選任・解任委員会の組織位置付けの大幅な変更を実施して、左記の新役員が決まりました。

【評議員選定・解任委員】
佐藤征子
跡見 等
佐藤敏和
藤原運也

かれた6月15日の理事会において、滝川一亮理事

滝川一亮（理事長）

滝川一亮（理事長）

滝川一成

岩嶋 章

後藤英夫

橫山道史
青山勉

議員

井上賢照

今泉正子

尾崎勝己

竹尾誠

中村成人

心よりご冥福をお祈り
申し上げます。 合掌

職員採用の促進及び離職率の削減には、公平な

4 キヤリアノフ制度の構築

大盛況で地域還元

特集作樂荘介護士木村有沙

作樂荘文化祭、今年の目玉はここ二年開催されなかつた人気の「バザー」です。地域の皆様からのご要望もあつて復活し、今年からは『お宝市場』と銘打つて、目玉商品を作るなど趣向を凝らしたイベントになりました。

法人役員・後援会・入所者ご家族・業者の皆様や職員から物品を募り、寄付して頂きました。お陰で沢山の物品が集まつて、「値付けや陳列が大変だ!」と嬉しい悲鳴が上がりました。ご協力有り難うございました。

当日はオープン前から長い行列ができていたそ

うで、始まってからあつた人気の「バザー」

です。地域の皆様からのご要望もあつて復活し、今年からは『お宝市場』と銘打つて、目玉商品を作ることに決まりました。行事委員を中心にして値札貼りや物品分けなどで大変苦労しましたが、完売と聞いて達成感がその疲れを吹き飛ばしてくれ、さらに喜びに変わりました。

本館内は、入所者・利用者・入居者の皆様の作品展示と恒例のお茶席で



久々のバザーで大盛況!

という間に商品が売れ、ほぼ全品を売り切ることできました。行事委員を中心にして値札貼りや物品分けなどで大変苦労しましたが、完売と聞いて達成感がその疲れを吹き飛ばしてくれ、さらに喜びに変わりました。

私の担当は、新館六階で開店の美光喫茶館でした。作樂荘の最上階で営業するので、最高の景色も楽しめる、まさしく展望レストランです。

こちらも二年振りの復活で、メニューはカレーライス・サンドイッチ・ケーキに、飲み物はコーヒー・ジュース。すべてワンコイン(百円玉)で提供しますが、人気メニューはカレーライス。文化祭には美光喫茶で美味しいカレーが食べたくて、この日を楽しみにしていたんだよ!などと、この日の復活を待ち望んでいました。

康体験コーナーは、骨密度の測定、健康体操、無料の肩もみ、トロミ付き食品の試食など、いずれも満員の人気でした。

私の担当は、新館六階で開店の美光喫茶館でした。作樂荘の最上階で営業するので、最高の景色も楽しめる、まさしく展望レストランです。

こちらも二年振りの復活で、メニューはカレーライス・サンドイッチ・ケーキに、飲み物はコーヒー・ジュース。すべてワンコイン(百円玉)で提供しますが、人気メニューはカレーライス。文化祭には美光喫茶で美味しいカレーが食べたくて、この日を楽しみにしていたんだよ!などと、この日の復活を待ち望んでいました。

最後はもち投げで締めくくり、昨年以上の盛況振りでした。近隣の皆様にお応えして、地域還元ができたと思います。



美光喫茶も復活しました

BVH文化祭

文化週間のお茶会

茶々俱楽部委員長 野口時江

11月1日、文化週間の行事としては初めてのお茶会を企画しました。今回は職員のほかにデイケアの利用者さんもお招きしたので、日頃の職員からは想像できない姿（？）なども見て頂けたのではないかと思います。

利用者さんの中には花嫁修業の一つとして習われていた方もお見えになり、職員のお点前を見て昔を懐かしんでおられました。退席される時には「また、呼んでね！」と嬉しい言葉も頂きました。

今回は施設1階の会議室に置き、茶室という空間を作り出しました。今日は大正琴を持ち込んで、猛練習に明け暮れました。



後ろの席には、利用者さんが緊張の面持ちで椅子に座りました



夜遅くまで必死に励んだ、職員のハンドベル練習風景です

忘れていた心の安らぎと日本の伝統の良さを改めて感じながら、身の引き締まる思いでした。

文化の日の演奏会

デイケア介護士 鈴木房子

デイケアでは11月3日の文化の日、レクリエーションの時間に大正琴とハンドベルの演奏会を開くことになりました。

一通り演奏が終わると、今度は「アンコール！」の声。終わってみれば、予定の曲にアンコール曲を加えて3曲、有難く演奏させて頂きました。



演奏会当日、アンコールに応えて大正琴を演奏する職員の様子

久し振りの職員による生演奏。出演する職員は当日までの数日間、業務終了後や時には自宅まで大正琴を持ち込んで、猛練習に明け暮れました。



奏するのに精一杯の私たちを横目にして、利用者の皆さん是一曲目から曲に合わせて歌ったり、演奏ミスが出て必死でカバーし合っているときも大きな拍手を叩いたり、大きな盛り上がりでした。一通り演奏が終わると、奏するのに精一杯の私たちを横目にして、利用者の皆さん是一曲目から曲に合わせて歌ったり、演奏ミスが出て必死でカバーハンドベルの演奏会を開くことになりました。

文化祭は一日にしてならず

特養麗楽荘事務副主事 白井ひろみ



今年も待ちに待つた文化祭が始まりました。思い起こせば、9月の始め頃には敬老会の準備をしながら入所者の皆さんと、「文化祭で何食べたい?」「やっぱり五平餅は外せないね」「アツアツのうどんもいいね」などと話しつつ、指折り数えて待っていました。

そして当日、模擬店では例年どおり奥三河の味、五平餅が不動の人気。でも今年のイチオシは、何と言つても小島荘長自らが焼く焼きそば。特製のダシとソースを隠し味に使つたこだわりの逸品は、早々と売り切れました。

それらを含め全部で8品のメニューとケーキ5種類。皆さん思い思いに屋台を回り、好きな物を選びます。ここぞとばかりに、「文化祭の日はあと二つぐらい胃袋が欲しいねえ」と言つても小島荘長自らが考案した「組みひも」を販売する台によつて皆様々な表情で、見ていて飽きることがありません。組紐を作る台も職員の手作りです。

かわいらしい手編みのバッグには、「ちょっとしたお出かけにひとつ欲しいなあ」「秋らしい落

りが文化祭ではありませんよ。午後からは、こちらも毎年文化祭恒例のお楽しみ、「ほうらい吹奏樂団」のコンサートで芸術の秋を堪能しました。そしてまた何よりも、来荘されるお客様に一番見ていたいきたいのが作品展示コーナー。この一年、利用者の皆さんがあつたり溜めてきた作品です。ため息が出るほど美しい折紙細工やぬり絵。丹精に作り上げた組紐は、合わせる糸の色や組み方によつて皆様々な表情で、見ていて飽きることがありません。組紐を作る台も職員の手作りです。

さあ、次は何を作りますか? 乞うご期待。ち着いた草色もいいけど、たまには思い切つて赤もいいなあ」と勝手に楽しむ想像が膨らみます。クラフトテープで作った籠バッグは、色鮮やかでひとつ飾るだけでお部屋が明るくなりそう。作つたご本人たちも、「ああ、そう言えばこれも作つたね」とつぶやきながら、楽しそうに一年を振り返つていました。



さあ、次は何を作りますか? 乞うご期待。

シリーズ④—本部編

(福)一誠福祉会 本部付 滝川一善

師走も既に半ばを過ぎて、そろそろ年末年始の準備も始まる頃合いとなりました。ですが、今回の研修レポートは数ヶ月戻つて初夏の頃、梅雨時の内容となります。

特養・小規模特養・グループホーム・老健とそれぞれの現場を回り、六月は本部に呼ばれました。一般に、大卒向け求人は三月から広報活動が解禁され、六月には試験、七月には内々定というパターンが多いのですが、一誠福祉会ではハローワークが定める高卒求人スケジュールに則り、五月下旬の事業所向け説明会、

六月上旬の高校進路指導主事との意見交換会を経て、七月に求人票を各校に届け就職希望者を募ります。ですから、実際に届け就職希望者を募ります。五月下旬にも榎山人事部長とともに事業所向け説明会に参加しております。

皆さんも想像できると思いますが、当然、進学率百パーセントの高校へは出向きません。そういう高校からは前述の意見交換会にも参加してきました。せんしづ。ですが、一見関連なさそうでも専門的な分野の学校へは行きます。なぜなら、OBやOGが当法人に現に所属しているからなのです。

これは某校で聞いた話ですが、その学校の就職希望者数名には、卒業生

が実際に勤務している事業所を優先して紹介しているとのことです。その方が安心して就職できるという理由があります。確かに私自身が就職活動を行っていた頃にもOB訪問は当たり前にありましたし、バブル景気崩壊後というタイミングでの就職活動には、コネクションが欠かせませんでした。

といったことから、当法人にも近隣各校の卒業生が多数いるので、学校の先生と話をする際には割と必要な情報となり、就職先の決め手と成り得るのです。卒業生の職員が一生懸命に頑張つていればいるほど、出身校の評判も高くなり、力を入れて就職のお願いに参上することになります。

当法人では榎山部長の方針の下、あえて求人票送付時期の前に各校を訪問し、就職のお願いをしています。他の同業者に先駆けて顔合わせをしておくという作戦ですね。こういう地道な活動は、即法人の利益に直結するわけではないのですが、継続していかねば意味がないません。

田原市で行われた就職フェアにも参加しました。田原市ののみならず豊橋市や浜松市、果ては名古屋辺りから駆けつける事業所もあり、最近の景気動向からも、就職を希望する学生にとつては「選り取り見取り」といった感じです。広間には事業所ごとにブースを設けるのですが、実に色とりどり。



田原福祉専門学校就職フェア（墨山会館）

カラフルな様子はカラーでないと判りづらいですが、一応写真も載せておきました。

利用案内とは別に、学生向けの施設案内パンフレットやリーフレット・ボールペン等の粗品を用意していた事業所もありました。また、陣容も事務系と現場系の組み合わせだつたり、「さながら『美女と野獣』」という組み合せだつたりして、非常

に細かい点までフィーチャーされていました。

一方、我等が一誠福音会の陣容は、一見するとお爺ちゃんとおっさんで、学生諸君が尋ねてきてくれて、ホッと一安心。

もともとこの時期の本部における研修は、この学校訪問を含めた求人に係る活動内容を理解することとそのサポートという目的だったのですが、それらがひと段落すると、溜まっていた機関誌の原稿チエックや事務仕事等を手伝っていました。手が空くと「仕事くれ」と言い続けていたせいで、仕舞いには鬱陶しがれたような気もします。

たまたま本部パソコンが一台更新されたこともあって、本体の設定やデータの移設を行うなどの予期せぬ、しかも自分にできそうな仕事が舞い込んでもあります。設への異動となりました。

ふるさとの城郭

シリーズ⑭ 現在に残る天空の城(中編下)

老健ベルヴューハイツ支援相談員副主査 高橋 初典

今回も天空の城・中編下として全国各地の城跡を紹介していきます。

まずは、大分県竹田市

にある「岡城跡」。土井晚

翠作詩 滝廉太郎作曲の

「荒城の月」モデルの城

として知られています。

岡城の歴史は古く、文

治元年(1185年)、緒

方惟栄(これよし)が、源

頼朝に追われた弟義経を

迎えるため築城したと伝

わります。海拔325m

の台地上に築かれ、総面

積は100万m²(東京ド

ーム22個分)もある大城

郭です。後に豊後国守護、

大友氏の家臣である志賀

氏が入城し、南の島津氏

に備えます。

戦国末期の天正十四年(1586年)から翌年にかけて、薩摩から島津氏の大軍が攻め寄せます

が、僅か十八歳の志賀親

次は大軍を退きました。

この功により、大友氏の

後ろ盾となっていた豊臣

秀吉から、感状を与えら

れています。

文禄二年(1593年)、

秀吉に朝鮮出兵時の失敗

を咎められ、大友義統は

領地を没収されます。次

は播磨国三木城から、

そこには播磨国三木城から、

次は、岐阜県郡上市に

ある「郡上八幡城跡」で

す。戦国末期の永禄二年



岡城二の丸の高石垣

(1559年)、遠藤盛数

が砦を築き、六代遠藤常

友の拡張修復によつて、

江戸幕府より砦から城郭

へと認められました。

宝暦九年(1759年)

に、丹後・宮津城より青

山幸道が移ると、麓の殿

町に居館を築いたので、

山上の旧二の丸を本丸、

旧本丸を桜の丸・松の丸

へと改めました。幕末ま

で青山氏が治めますが、

明治五年(1872年)に石垣を残して建築物は

全部取り壊されます。

昭和八年(1933年)に入ると、当時現存して

いた大垣城天守を模して、

四層五階建の天守閣が木

造で築かれます。司馬遼

太郎は、雲海に浮かぶ山

上の天守を見て、自身の著書に「日本で最も美し



天空に浮かぶ越前大野城

い山城」と評しています。続いては、福井県大野市にある「越前大野城跡」です。天正三年（1575年）、織田信長より越前一向一揆を鎮圧した恩賞として越前大野郡三万石を与えられた金森長近が、亀山に築城したのが始まりです。金森氏は、山全体に曲輪を巡らし、麓にも堀を設けて鉄壁の要塞に築き上げました。また

山頂にある天守曲輪には、二重三階の大天守へと小一一向一揆を鎮圧した恩賞として越前大野郡三万石を与えられた金森長近が、亀山に築城したのが始まりです。金森氏は、山全体に曲輪を巡らし、麓にも堀を設けて鉄壁の要塞に築き上げました。また

山頂にある天守曲輪には、二重三階の大天守へと小一一向一揆を鎮圧した恩賞として越前大野郡三万石を与えられた金森長近が、亀山に築城したのが始まりです。金森氏は、山全体に曲輪を巡らし、麓にも堀を設けて鉄壁の要塞に築き上げました。また

現在、山頂に建つ天守は、往時の絵図や同時期の他の天守を元に、昭和四十三年（1968年）、鉄筋コンクリート造で復興されました。山頂には内堀や空堀、山麓にも内堀や外堀の一部が残っています。最後は、滋賀県長浜市

天守・付櫓を付属させた、「複合連立式天守」と呼ばれる凝った造りの天守閣を備えています。その天守閣を含めた主重要な建造物は、安永四年（1775年）に焼失しますが、寛政七年（1795年）に天守を除いて再建されます。しかし、こちらも明治維新後に破却されています。

織田信長は、親戚関係となつた浅井氏を信じて、対立していた越前の朝倉氏討伐に向かいます。しかし、その道中、浅井軍から背後を急襲されて命辛々京へ逃げ帰ります。激怒した信長は、徳川軍と態勢を整えて、浅井・朝倉連合軍と姉川を挟み対峙します。この「姉川の合戦」で大勝利を收めた信長は、長政が逃げ帰った小谷城を包囲します。

された羽柴秀吉軍は、力攻めでは容易に城を落とせないと考え、調略によつて浅井氏家臣たちを寝返らせておきます。総攻撃により落城を悟つた浅井久政・長政親子は、自刃して果てます。

長政は、それ以前に妻のお市の方と三人の娘（茶々・お初・お江）を城外に逃がしていました。その後、茶々が秀吉の側室となり秀頼を産み、お初が名門・京極氏に嫁ぎ、お江が二代将軍・徳川秀忠との間に三代将軍・家光を授かるのは、ご存知の通りです。

現在の小谷城は、辛い歴史を歩んできた事を思い浮かばせない程、静かな佇まいを見せていました。次回後編もお楽しみに！

小谷城攻撃の前線を任

★
作 樂 莊

施設だより

○ピアノ演奏会の喜び

ボランティア 李野 博子

「けんじさん、今日も最

後に『あまちゃん』弾くで

ねー」「おー、いいねえ。あ

の曲聴くと元気が出るよ』

とここ数年、演奏会の締

めの定番は、以前ヒット

したNHKの朝ドラ『あ

まちゃん』のオープニ

グテーマ。けんじさんお

氣に入りの一曲です。

振り返れば八年前、作

楽荘でお世話になってい

た祖母は認知症が進み、

私や家族のことすらわか

らなくなっていました。

ほぼ寝つき状態の祖母

も含めた人生の先輩方に、

ささやかながら私にでき

る唯一の事が月一度のピアノと歌の演奏会でした。

涙を浮かべて真剣に聴

いて下さるそんな方々に

接する度に、私は逆に励

まされ、感謝の気持ちで

いっぱいになります。

祖母は四年前に満百歳

と六日で亡くなりました

が、その後も演奏会は続

けさせていただいており

ます。そしてあつという

間に八年、演奏会は九十

回を数えます。

私の大好きだった祖母

が人生最期の四年半を過

ごした、この作楽荘で演

奏させていただること

は、私にとつてこの上な

い喜びです。

来年は、作楽荘「百回

記念コンサート」として

何か企画しようかなと、

今から思案中です。

○感動と幸せの絵手紙教室

ディイ講師 神藤 美智子

姑が旅立った。九十六

歳。安らかで実に美しい

死顔は遺された者への何

よりの贈り物でした。

丈夫な人でしたのが年齢

には勝てず、最期一年余

をベルヴューハイツさん

でお世話になり、職員さ

んから愛されて本人も満

足、家族も感謝しております。

そのご縁で絵手

紙教室のボランティアを

始めさせて頂きました。

あれから七年…。月一

回の絵手紙教室ですが、

毎回皆さんが楽しみに待

つっていて下さいます。明

るい雰囲気で時には拍手

で迎えて頂いています。

描きながら「楽しい！

ここに来たお陰だやあ』等とおっしゃる声を聞くと本当に嬉しくなり、私の持っている拙い技術の

全てを出して、一時でも

楽しく過ごして頂けたら

と心から思っています。

小中学校以来絵など描

いた事のない人が大半。

引込み思案な人がだんだ

んと真剣になり上達され

る様子、手が震えると言

いつつ一生懸命線を引く

姿、そして描き上げた時

の一人一人の嬉しげな笑

顔を見るたびに、「あーよ

かった。今日も元気を頂

いた」と感動します。

「来月も元気に参りま

すので、皆さんも全員お

元気でいらして下さい

ね」と爽やかにお別れし、

毎回幸せな気分で帰途に

着いています。

★美光ハイム――

○日帰り旅行龍潭寺巡り

生活相談員 一番ヶ瀬智佳子

紅葉日々に増す10月26日、入居者の方と戦国の女城主井伊直虎で有名な龍潭寺へ出掛けました。

先ずは、龍潭寺近くの国民宿舎奥浜名湖で昼食です。奥浜名湖を一望できるレストランで海の幸・山の幸を存分に堪能でき、皆さん満面の笑顔。食後は地元名産品を数多く取り揃えある売店で買い物。目移りに悩みながら、楽しそうにお土産を選ばれていきました。

休憩の後は、目的の龍潭寺です。シルバーカー使用の方でも階段を上らず直接入口まで行けるよう、特別な駐車場を利用



龍潭寺東門（旧鐘楼門）にて

させていただきました。

旧鐘楼堂を通り本堂へ、そして裏側へと回ると小

堀遠州作の貴重な寺院庭園が目の前に。井伊家の

お殿様が秋の満天星（どうだん）庭園をどう感じられていたのか、思いを馳せしばし拝見。

日々の生活から離れての気分転換は元より、季節・歴史を感じて楽しそうにしている皆さん姿を垣間見ることができ、嬉しく感じました。

★俱楽莊――

○ユマーチュードを学び

特養介護士 宮本あかり

豊橋市公会堂において十月二十九日、「ユマニチュード」について学ぶ研修会に参加しました。

ユマニチュード（フランス語で「人間らしさ」）とは、二人のフランス人によって創り上げられた認知症ケア。そのケア手法は、「ケアする人とは」「人とは何か」と問う哲学をもとにした実践的なテクニックを使いながら、ケアを受ける人に「あなたは大切な存在です」というメッセージを届ける為のものだそうです。

研修中に、何度もこの「あなたは大切な存在です」ということを伝える

重要さを意識しました。

例えば見る事。介助中に同じ目線の高さでアイコンタクトを取れば、二人の関係が対等であるという事。目線を合わせなければ、「自分は存在しない」という意識を利用者に植え付けてしまうといふ事。話す際には、穏やかに、ポジティブに、途切れなく伝える事が大切。そして、いかにして「あなたは大切な存在です」というメッセージを伝え、実感してもらう事が出来るのは、という術をご教示いただきました。

今回の研修は、これまでの自分の介護手法を見つめ直す良い機会になりました。教わったユマニチュードを今後の介護に生かすよう努力します。

○新たな職場環境で

G.H介護士副主任 野澤尚弘

私は今年で一誠福祉会18年目です。平成12年4月に入社して、当初はシヨートステイに配属されてその後は特養に異動となり、合わせて12年間作業荘で勤めました。

その後新城のG.Hうららに移り、グループホームについて学びましたが、

そこで一番苦労したのは料理を作ることでした。

食材の切り方や味付けの仕方について全くちんぷんかんぶんのまま、初めて作った料理が「しじみ汁」。それは鍋に「しじみ」だけを入れて煮出した、白く濁った汁でした。

入居者の皆さんから、

「こんなまざい白湯を飲まされて！」と怒られた思い出があります。自分がイメージしていた「料亭で出てくるしじみ汁」も白く濁つていて、見た目にはイメージ通り出来ていましたが、味付けが良くなかった様です。そんな失敗もありましたが、それも良い経験となつて、今では作れる料理の数だいぶ増えました。

そしてこの11月から豊橋に戻つて、G.Hくららの配属となりました。料理については以前よりも自信がつき心配は無くなりましたが、新たな職場環境については以前よりも、赤川さんのご家族がグッドタイミングで面会に見えたのです。この予期もしなかつた出来事に、とても驚かれていました。

もちろん皆さん交えて、全員一緒に祝いすることになりました。久しぶりにご家族の顔を見ながら、にぎやかな誕生日会

斯樂莊

○赤川さんの誕生日会

介護士副主任 井土 美香

十月十九日、Aユニットの入居者さんとスタッフで、日程を繰り上げて、赤川さんの誕生日会を開くことになりました。

ケーキを用意して、ろうそくに火を点けて、皆さんでバースデーソングを歌おうと準備をしていました。すると偶然にも、赤川さんのご家族がグッドタイミングで面会に見えたのです。この予期もしなかつた出来事に、とても驚かれていました。

赤川さんご一家の楽しさを見て、スタッフ一同も幸せな気分になりました。

こんな日がまた来ると良



皆さん揃ってとても楽しい誕生日会

になりましたので、赤川さんは終始笑顔でとても嬉しそう。ご家族の皆さんも、赤川さんが笑顔で美味しそうにケーキを頬張る姿を見ながら、大変喜ばれています。

赤川さんご一家の楽しさを見て、スタッフ一同も幸せな気分になりました。こんな日がまた来ると良いなと思いました。



狙い定めて放水すれば
的には見事百発百中！

☆ベルヴューハイツ☆ ○悲願の優勝

支援相談員副主任 今泉 真司

10月28日、第51回豊橋自衛消防連絡協議会放水競技大会に参加して、ベルヴューハイツは第42回大会の優勝以来、9年ぶりの栄冠に輝きました。昨年は、同じメンバーで優勝を目指しましたが、数秒の差で2位となつたので、その雪辱戦でもありました。

2人そろって、「次回は1位の座を守る為に、ぜひ連覇をしたい」と力強い言葉を残しました。



優勝旗をはさんで堂々、
左が小澤君 右が高瀬君

10月28日、第51回豊橋自衛消防連絡協議会放水競技大会に参加して、ベルヴューハイツは第42回大会の優勝以来、9年ぶりの栄冠に輝きました。昨年は、同じメンバーで優勝を目指しましたが、数秒の差で2位となつたので、その雪辱戦でもありました。

2人は終始落ちていた動きを見せて、2位との差を大きく引き離し文句なしの1位となりました。

いました。

競技は「玉入れ」「小玉送り」「パン食い競争」の三種で、すべて「人にやさしく」「座ってできる」「公平」をモットーに。

選手宣誓の後、早速玉入れ開始。すると、モッ

トーなどどこ吹く風で腰は浮くわ、籠まで歩き始めるわ、予想以上の白熱ぶり。球を手元まで届ける係、制止する係と職員

部には9チームが参加しました。日頃の練習通りにはいかず、多くのチームが緊張のあまりにタイムを落としてしまう中、

○勝ち負けは二の次！

デイ介護士主任 味岡 加依子

ベルヴューハイツディケアでは10月11日・12日の2日間、恒例の大運動

会を利用者の皆様と共に職員も加わって、紅白のチームに分かれて競い合

いました。

ジャッジする側としてはそのやりとりがおかしく、大笑いしております。ほとんど体力をここで使い果たされたか、他の二種は滞りなく終了。ご利用者からは「夢中でやったよ！」との声が多く、お疲れの中にも清々しさも感じられました。

不慣れな進行にも拘わらず、ご協力頂きありがとうございました。楽し

い時間を過ごしました。



白熱以上の玉入れゲーム

○ものづくり吉かわ

介護士 奥山景子

D S C 吉かわでは、午後の2～3時はレクリエーションの時間です。カラオケやゲームとともに、手作業などを行います。手作業では、壁一面の大作からストラップのような小さな物まで、あらゆる作品に挑戦します。

ご利用者の皆さん、細かい作業や絵など得意分野はそれぞれです。迷つたり困った顔をした時や悪戦苦闘してなかなか手が進まない時は、周りの方がそつと手を差し伸べてくれます。時には職員に「そこは違うよ。こっちのほうがいいな」となどと厳しい指導も入り



お抹茶も文化の日のお楽しみ

そして、文化の日にはおやつとしての美味しい和菓子にお抹茶を添えて、皆さんで日本伝統の文化を賞味します。来年はどのような素敵なお作品に出会えるのか、今から楽しみです。

最初の大玉送りでは、皆さんで「がんばるぞ！エイエイオー！」とかけ声をかけ気合を入れて、競技でも職員顔負けの見事なチームワークを披露してくれました。

続いて行われた玉入れでは、必死に籠を目掛けて



赤勝て！白勝て！の白熱戦

ます。製作中には、「丈夫？何が出来るの？」など時々不安な声も聞こえますが、出来上がった作品はどれも素敵な物ばかりです。そんな作品を一年分全て展示するのが、「文化の日」です。



○大盛り上がりの運動会

特養介護士 神谷康裕

10月8日の午後、紅白のチームに分かれて競う運動会は、入所者代表の力強い選手宣誓で幕を開けました。そして私もラジオ体操の模範演技に参加させて頂きましたが、入所者の皆さんとの運動会に対する気持ちが徐々に盛り上がりてくるのを感じました。

最初の大玉送りでは、皆さんで「がんばるぞ！エイエイオー！」とかけ声をかけ気合を入れて、競技でも職員顔負けの見事なチームワークを披露してくれました。

最後の競技のパン食い競走に参加した方々は、ロープに吊るしてあるパンに悪戦苦闘しながらも、思い思いの体勢でパンを掴んで笑顔でゴールしていました。

今後も介護士として、入所者の皆さんとの笑顔が一杯見られるように頑張っていきたいです。



玉を投げ入れるあまり、籠を持つ職員が疲れて途中で足が止まってしまう一幕もありました。

○ 秋のふるさと味自慢

デイ介護士 小林 真紀

自然いっぱいの新城ならではの秋の味覚を、料理名人の利用者の方々にお聞きしました。

「へぼ飯」：へぼとは、くろすずめ蜂の幼虫です。まず蜂の巣からへぼを取り出して、混ぜご飯の要領で砂糖と醤油で煮付けます。それを炊きたてのご飯に混ぜて出来上がり。そこに蜂も一緒に煮付けると、食感も良くなつて、さらに美味しくいただけます。昔は稻刈りの後のお楽しみだったそうです。

「いなご」：いなごを5匹ほど串に刺して、醤油をつけて炙つて食します。みんなも新城に来て、秋の味覚を堪能してみてください。



私のむかごご飯はいかが？

今回紹介した料理以外にも、食材豊かな新城には沢山の田舎料理があります。みなさんも新城に来て、秋の味覚を堪能してみてください。

事前に入居者の皆さんから、避難経路についての確認と、避難袋に何を入れるのかについて質問がありました。「懐中電灯やラジオ等を入れておくと災害時に便利です」とお話しすると、早速準備されたようです。

昼食を終えて各部屋を回ってみると、「準備は非常ベルが鳴つてから」とお願いしてあつたにもかかわらず、すでにいつ



避難訓練で頑張る和光の皆さん

「むかごご飯」：むかごとは自然薯の実です。

それを洗つて、新米やもち米と混ぜて炊き上げま

す。そして、塩を少々振つて味付けをすれば出来上がり。そこへ栗などを混ぜると、一層秋の味覚が楽しめるとのことです。

和光ハイム

○ 合同避難訓練の実施

介護士 足立 成丈

10月11日に、麗栄荘特養・G.H.うらら・和光ハイム合同の避難訓練を行いました。その日は風も無く、まだ残暑で暑いくらいの日でした。事前に入居者の皆さんから、避難経路についての確認と、避難袋に何を入れるのかについて質問がありました。「懐中電灯やラジオ等を入れておくと災害時に便利です」とお話しすると、早速準備されたようでした。災害は何時やつて来るかわかりません。常に災害に備えるようにしていただきたいと思います。

でも逃げられるように準備している方が、何人もうららしくやいました。そして、非常ベルが鳴つて一斉に訓練が始まりました。年々非常階段での避難は困難な方が増えていますが、平地での移動力はかなりのもの。皆さん怪我もなく、無事避難訓練は終了しました。

災害は何時やつて来るかわかりません。常に災害に備えるようにしていただきたいと思います。



自動改札口は不慣れでして…

○電車でお出掛け

介護士 花山佳代

10月中旬の秋晴れの日、飯田線を利用して豊橋駅のカルミアで食事と買い物をしてきました。

普段は電車を利用する
ことがないので、「久し
ぶりだねえ」と何度も嬉
しそうに話されていました。
た。この日はいつにも増
して、皆さんの笑顔を見
ることができました。

昼食はカルミア内の飲食店で海鮮丼を注文しました。外食とあって、「おいしそうだねえ」と皆さんとも嬉しそう。食欲もそられたようで、海鮮丼のお刺身もペロツッと召し上がつて、普段の

それでも、カルミア内の移動で利用したエスカレーターでは、最初こそ不慣れな様子で心配しましたが、徐々に慣れてきて怖がることもなく、結構楽しまれていました。

○奇樂莊
○ニーツリーダー研修

介護士 羽山 優貴子
ユニットリーダーについて、九月の三日間は名古屋で座学を受講し、十月の五日間は他施設で実地研修を受けました。

座学ではユニットケアについての基本的な考え方やリーダー論について学び、色々な知識を身につけることができました。実地研修の定点観察の時間では、ユニットの性格を肌で感じながら自施設と照らし合わせることで、課題や目標を見出すごできました。何より定点観察で感じたのは各ユニットの持つ色や雰囲気を作りだすのはやはり職員であって、一人ひ

とりへの心配りが大切であるということです。

グルーブワークでは一つのテーマについて意見を交わしましたが、ケア一つをとつても各々考え方方が違い、改めてユニットケアとは何かを見つめ直す機会となりました。

これまで私は、ユニットケアの在り方や考え方必要以上に捉われ、それに固執してきました。またその考え方の中でのジレンマも感じてきました。しかしこの研修を通じて、新たな考え方や選択肢が生まれ、それに伴いケアの幅が広がったように思えます。

今後は柔軟な考え方を持つ、「ユニットらしいケア」に取り組んでいきたいと思います。

ベルヴューハイツ日誌

2月 生け花クラブ

7月 本の花会員旅行D班(～8日)

10日 荘内研修茶々俱楽部

14日 本の花会員旅行E班(～15日)

15日 インターレンジ予防接種

22日 第8回知恵かづ

24日 荘内研修茶々俱楽部

25日 運営準備会議

26日 のんばるロフト

30日 連絡会議

11月 譲生日者

櫻井 三子さん(8歳・中村こじ子さん9歳)